

平成30年度 福祉従事者研修【課題別】

発達障がいへの理解と対応研修 (基礎編)

目的

基礎編では「発達障がい」への理解を深め、発達障がい者の支援とコミュニケーションのポイント、保護者との関わり方などについて、基本から幅広く学びます。

効果

現場の一線で活躍してきたプロだから話せる、基礎から学ぶ現場対応スキルや、ひとりひとりに合わせた理解と支援のコツを学ぶことができます。

日時

平成30年6月20日(水) 10時00分～16時00分

会場

佐賀県社会福祉会館(県社協会館) 3階大会議室 (佐賀市鬼丸町7-18)

受講対象 ・定員

新任職員から管理職員まで全階層の職員
60名

受講料

佐賀県社協会員:5,000円 (非会員:8,000円)税込

申込締切

平成30年5月31日(木) 午後12時00分

※定員に達した場合は早期に申込みを締切ることがあります。

※研修実施可能人数を満たさない場合は開催を見送る場合があります。

プログラム

時間	研修内容
9:30～	受付
9:55～10:00	オリエンテーション
10:00～12:00	講義・グループ討議 ■「発達障がい」の基本特性を理解する
12:00～13:00 (昼食・休憩)	■発達障がい者の支援とコミュニケーション
13:00～16:00	■保護者との関わりについて ■実際の現場における対応事例(基礎編)

※研修にはグループ討議・演習等があり、より効果的に学ぶことができます。

※研修内容は一部変更される場合があります。

講師

緒方 よしみ (おがた よしみ) 氏

児童発達支援センター こだま 園長(福岡市)
群馬県高崎市出身。小学校教諭ののち、結婚を機に福岡へ移住。知的障害者通所授産施設支援員、療育機関での研修員、知的障害養護学校(現中央特別支援学校等)講師として勤務経験を持つ。福岡市発達障がい者支援センター前所長。長年にわたり、現場の第一線で様々な発達障がい者支援に携わってきた発達障がいのプロフェッショナル。



受講者の声

『これまでの支援は、言葉掛けだけで行ってきたが、

今回の研修で習った視覚情報の活用が有効と思ったので実践したい』(50代・女性)

『支援の内容を特性から理解するというので、

わかりやすくまとめてあり、参加して良かった』(40代・女性)